

東京都議会議員【渋谷区選出】

中田たかし

東京都議会立憲民主党

1989年(平成元年)9月生まれ32歳。駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了。ながつま昭衆議院議員の元公設秘書。2019年4月に渋谷区議会議員、2021年7月に東京都議会議員当選。経済・港湾委員会、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会所属。

都議会レポートvol.3 第4回定例会で一般質問に立ちました

第4回定例会が開会されました。都知事をはじめ、東京都に対し一般質問に立ち、＜新型コロナウイルス感染症に関する差別解消の取り組み/学校における新型コロナウイルス感染症対策/学校でのいじめの対応・実態解明/HPVワクチン積極的勧奨再開に応じての対応/グリーフケアの充実＞について質問をしました。

また、第3回定例会では渋谷区の都市計画・都市整備について文書質問をしました。
皆様の都政へのご意見・ご要望を是非お寄せください。

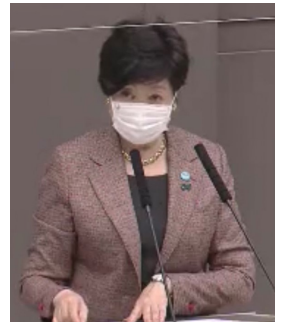
新型コロナウイルス感染症に関する差別解消の取組強化

中田たかし：

新型コロナワクチンの未接種者への差別を条例で禁止している自治体がある。ワクチン接種が経済再生の柱となっている中で、ワクチン未接種者が通常の社会生活を送りづらくなる懸念がある。東京都でも、体調面の理由やその他様々な事由によりワクチンを受けられない人への差別への対策を行うべきだ。

小池都知事：

新型コロナウイルス感染症に関する誤解や、偏見に基づく不当な差別的取扱いは許されるものではない。都は啓発ポスターの制作や動画によるメッセージの発信など、取組を強化してきた。今後も、差別の解消に向け、効果的な啓発等に取り組んでいく。



答弁する小池都知事

学校でのいじめの対策・実態解明/グリーフケアの充実



立憲民主党

中田 たかし 議員

本会議場での一般質問

中田たかし：

いじめが原因と疑われる児童生徒の自殺などの実態解明を行うための調査委員会において、遺族側の意向を考慮した体制づくりが必要である。そして、いじめが発生した場合に、事実関係の解明を行う適切な対応が求められる。

関係局長答弁：

重大事態発生時の対応を徹底し、解決に向けた取組を推進していく。

中田たかし：

グリーフケアの中でも流産・死産で、悲しみの中にいる家族へのサポートを充実させるために、電話相談の拡充、そしてオンライン相談を行ったり、不妊・不育の分野と連携し家族に寄り添う支援を強化すべきではないか。

関係局長答弁：

電話やピアカウンセラーによる対応窓口の周知を区市町村と連携し普及啓発に取り組む。

※グリーフケア

流産・死産をはじめ、死別を経験した人の喪失感とそれに対して立ち直ろうとする不安定な状態（＝グリーフ）の援助をすること

学校におけるPCR検査の延長を求める

学校における新型コロナウイルス感染症対策に関する質問が読売新聞と毎日新聞に取り上げられました。

新型コロナウイルスの感染再拡大を防止するためには、水際対策としてのPCR検査は必要不可欠です。子どもたちが学校行事の参加の際に検査が求められる場合等に、児童生徒及び教職員を対象にPCR検査を実施する事業を東京都は行なっています。現在、区市町村立学校の教育活動におけるPCR検査の実施事業は、実施期間が令和3年12月31日までとなっていました。

渋谷区では、すべての中学校が3月からの修学旅行を予定しており、また、小学校でも年明けに宿泊を伴う校外学習を予定していました。そのため、子どもたちの安心・安全を守るべくPCR検査の事業の延長を求めました。

令和4年3月末までの延長が決定しました。

2021年(令和3年)12月9日(木曜日) 読売新聞朝刊

「校外学習でPCR」公表

公立校 都議会で教育長

都議会第4回定例会は8日、一般質問が行われた。都側は、新型コロナウイルス対策で、校外活動に参加する公立学校の児童生徒向けにPCR検査を実施していることを明らかにした。このほか、東京五輪・パラリンピックのレガシー(遺産)創出や犯罪被害者支援など幅広いテーマで質疑が行われた。

立憲民主党の中田篤士都議の質問に答えた藤田裕司教育長によると、PCR検査は、保護者の同意が得られた児童生徒のほか、教員も対象。11月以降、部活動の全国大会に参加する際や、校外学習の訪問先から求められた時に行っている。藤田教育長は「学校周辺の感染拡大防止対策の徹底が重要だ」と述べた。

一方、東京五輪・パラリンピックを巡り、都民ファーストの会の森村隆行都議は「活用品を問われたオリリンピック・パラリンピック準備局の延滞は、五輪の魅力を発信にもつながら」と意欲を見せた。

このほか、共産党の榎手裕子都議が、盗撮や痴漢の実態を把握し、被害者の支援を強化すべきだと訴えた。

の自転車ロードレースのコースなどで一般大会の開催を検討しているが説明。コース沿道の人たちが熱中症を nearby に感じ、スポーツへの興味や関心を高め、地域の魅力発信にもつながら」と意欲を見せた。

HPVワクチン積極的勧奨再開に応じて様々な取り組みを

子宮頸がんの感染を防ぐためのHPVワクチンはこれまで、副反応の疑いがある等の報告があり、平成25年6月厚生労働省から積極的勧奨を差し控える通知が行われていました。そして今回、諸外国の状況等を勘案し積極的勧奨の再開が決定いたしました。それに伴い、接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種のフォローを国へ東京都から要望すべきと訴えました。

また、定期接種が認められていない9価ワクチンの接種、そして男性の性感染症予防についても効果があるため、海外では男性への接種が広まっています。東京都においてもワクチンの種類や対象者の拡充について検討すべきと考え提案し、「有効性・安全性に関する状況を踏まえ検証を継続的に行っていくことを国へ要望」という答弁を受けました。

※9価ワクチン 9つの型のHPVの感染を予防し、90%以上の子宮頸がんを予防するとされている、海外ではこれが主流

新型コロナウイルス感染症対策に関するお問い合わせ

●**新型コロナコールセンター**
新型コロナウイルス感染症の
予防・検査・医療に関すること
0570-550-571
(9時～22時 土日祝含む)

新型コロナウイルス
感染症対策HP



●**東京都発熱相談センター**
発熱等の症状がある場合の相談窓口
03-5320-4592
(24時間 土日祝含む)

第3回定例会 文書質問の内容

- 青山病院跡地の利用について**
渋谷区から青山病院跡地の都有地借用要望書が提出されたことを受け、その対応も含め今後のこの地域一帯の再開発への見解を質問
- 渋谷二丁目西地区都市計画について**
宮益坂上の再開発計画について、道路の性質上、交通渋滞や重大な事故が懸念されるため、その対策について質問
- 補助第26号線(下北沢)の進捗について**
東北沢駅前を通る区間の道路整備が平成19年度から着手されているが、現在の進捗状況について質問

詳しくは、事務所HPをご覧ください→



中田たかし事務所

皆様の都政へのご意見・ご要望を
お気軽にお寄せください！

【笹塚事務所】 〒151-0073 渋谷区笹塚2-12-1 ダイワビル1階D号室
【円山町事務所】 〒150-0044 渋谷区円山町26-7 TKフラッツ渋谷1201

【TEL&FAX】 03-6884-0200
【携帯電話】 080-7383-8474
【Eメール】 takashi@nakada.info



中田たかし

検索

